

各 位

平成 23 年 2 月 3 日

株 式 会 社 山 本 製 作 所  
丸 の 内 キ ャ ピ タ ル 株 式 会 社

### 山本製作所と丸の内キャピタルの業務資本提携に関するお知らせ

この度、株式会社山本製作所(以下、「山本製作所」と丸の内キャピタル株式会社(以下、「丸の内キャピタル」)は、業務資本提携(以下、「本件提携」)を行うことに合意致しました。本件提携に伴い、丸の内キャピタルが運用する丸の内キャピタル第一号投資事業有限責任組合は、2月3日付にて山本製作所株式を取得致しましたのでお知らせ致します。

山本製作所は、1966年の創業以来、ファインブランキング(以下、「FB」)専門メーカーとして自動車部品業界において着実に実績を上げ、現在では連結売上高が約140億円とFB業界のリーディングカンパニーとなっております。

昨今のリーマンショックの影響により、自動車部品市場は未だ回復途上の状況であり、自動車部品メーカー各社も経営基盤の安定を目的に様々な努力を行っているところです。また、完成車メーカーは円高などを背景に現地生産・現地調達を加速させており、部品メーカーについても、こうした動きに対応するための海外展開は必須の状況となっております。

これまで山本製作所は、日本工業大学との連携によるFB技術の強化、業界に先駆けた北米展開など数々の先鋭的な取組みを進めて参りました。今後は、こうした取組みに加え自動車業界の大きな変化を捉え安定的かつ迅速にお客様のニーズに対応するため、さらなる経営基盤の強化と海外展開力の強化を図る必要があると考えております。そこで、山本製作所は、経営基盤の一層の安定化と海外展開力の強化と将来の株式公開のためのコーポレート・ガバナンスの強化を念頭に、この度、丸の内キャピタルと本件提携を結ぶことと致しました。

丸の内キャピタルは、安定的かつ友好的に株式を保有し、企業価値向上のため三菱商事グループが有する事業ネットワーク・ノウハウやMUFGの金融ソリューション力などを幅広く活用することができる投資企業です。丸の内キャピタルとしても、山本製作所の独自の技術とそれによって構築してきたさまざまな自動車部品メーカーとの強固な取引関係を高く評価しており、三菱商事グループが有する事業ネットワーク・ノウハウやMUFGの金融ソリューション力などを組み合わせる事で、本件提携が山本製作所の潜在的な価値や力を実現し、大きく企業価値を向上させるものであると確信しております。

本件提携後、丸の内キャピタルは、社外取締役の派遣などを通じ、グローバル展開をはじめとする多方面にわたる事業戦略についての議論を重ね、山本製作所の企業価値の最大化、早期株式上場に向けて積極的に取り組みます。

以 上

本件に関する問合せ先 〒355-0071 埼玉県東松山市新郷 88-26  
株式会社山本製作所  
取締役 松村 政忠  
電話:0493-23-9021

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-3-1 東京銀行協会ビル9階  
丸の内キャピタル株式会社  
シニアディレクター 松島 陽介  
電話:03-6212-6498

#### 山本製作所について

事業内容 ファインブランピングによる金属プレス加工。主に自動車部品製造  
住所 埼玉県東松山市新郷 88-26  
代表者 山本勝弘  
設立 1967 年  
売上高 連結約 140 億円、単体約 120 億円

#### 丸の内キャピタルについて

事業内容 投資事業有限責任組合財産の管理及び運営経営コンサルタント業務等  
住所 東京都千代田区丸の内 1-3-1 東京銀行協会ビル 9F  
代表者 矢坂 修 (代表取締役社長)  
設立 2008 年

丸の内キャピタルは、三菱商事と、三菱 UFJ フィナンシャル・グループの子会社である三菱 UFJ 証券(現三菱UFJ証券ホールディングス株式会社)により 2008 年 4 月に設立された投資ファンド運営会社であり、三菱商事が有する幅広い事業ネットワーク・ノウハウと、MUFG グループの広範な顧客基盤・金融ソリューション力を最大限に活用することにより、投資先企業の企業価値を持続的に向上させることを目指しております。また、投資スタンスとしては、投資先企業との強く安定的な信頼関係を築くことにより、投資先企業が本来有する潜在的な価値を実現することを目指しております。

なお、今回の株式の取得者である「丸の内キャピタル第一号投資事業有限責任組合」は、丸の内キャピタル、三菱商事、三菱東京 UFJ 銀行、MUS プリンシパル・インベストメンツ(三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社の 100%子会社)が出資する総額 1,000 億円のファンドです。